

第 145 回東邦医学会例会プログラム

平成 27 年 2 月 18 日(水) 午後 5 時～7 時 40 分

平成 27 年 2 月 19 日(木) 午後 5 時～7 時 27 分

平成 27 年 2 月 20 日(金) 午後 5 時～7 時 56 分

東邦大学医学部大森臨床講堂(5号館 B1F)

当番教室: 18日 解剖学講座微細形態学分野 黒田 優教授
19日 整形外科学講座(大森) 土谷一晃教授
20日 眼科学講座(大森) 堀 裕一教授

2月18日(水)

開会の辞 _____ 解剖学講座微細形態学分野 黒田 優教授

当番教室: 解剖学講座微細形態学分野

A. 平成25年度プロジェクト研究報告 1 (発表:各8分, 討論:各2分)

座長: 赤羽悟美教授 (統合生理学分野) 1・2席 (5:00-5:20)

1. 臨床分離肺炎球菌のキノロン感受性と莢膜型・遺伝的系統の変化に関する研究(8分)
○嵯峨知生, 柏谷 淳(微生物・感染)
2. 消化器上皮細胞における STARD10 の免疫組織化学的検討(8分)
○関 由成, 鈴木郁子(統合生理)

座長: 船戸弘正准教授 (微細形態学分野) 3・4席 (5:20-5:40)

3. 脂質転移タンパク質 STARD10の抗炎症効果についての検討(8分)
○伊藤雅方(統合生理), 小田哲子(微細形態)
4. 生と死の臨界で働く概日時計シグナル(8分)
○田丸輝也(細胞生理), 吉住あゆみ(微生物・感染)

B. 教授特別講演 1

座長: 渡邊善則教授(大森心臓血管外科) 5席 (5:40-6:00)

5. 心電図の読み方レッスン: 絶対読める心電図 (20分)

内科学講座循環器内科学分野(大森) 教授 池田隆徳

C. 大森病院 CPC Clinico-pathological conference (CPC)

司会: 名取一彦准教授 (血液・腫瘍科) 6席 (6:00-7:00)

6. 収縮性心外膜炎の1例

矢尾進太郎(大森循内), 二本柳康博 (大森病院病理)

— **教育講演** (7:00-7:40) <企画担当> 解剖学講座微細形態学分野 — — —

「モデル動物を用いた親子関係の神経生物学」

座長: 船戸弘正准教授(微細形態学分野) (発表:各20分, 討論含)

- 1) マウス内側視索前野の養育行動における役割 恒岡洋右(微細形態)
- 2) 親に運ばれる時に起こるこどもの鎮静化: 乳児と仔マウスを用いた比較研究 堤 さちね(微細形態)

2月19日(木)

当番教室：整形外科学講座(大森)

D. 教授特別講演 2

座長：高橋 寛教授(大森整形外科) 1席 (5:00-5:20)

1. 超高齢社会における運動器の重要性：衛生学の視点から (20分)

社会医学講座衛生学分野 教授 西脇祐司

E. 一般演題 1

(発表:各7分, 討論:各2分)

座長：並木 温教授(卒後臨床研修・生涯教育センター) 2~4席 (5:20-5:47)

2. Team-based learning で能動的学習が促されたかの検討(7分) 藤代健太郎(教育開発室)
3. 大森病院周術期センターにおける口腔トリアージ OM (オーラルマネジメント)方式の検討(第1報)(7分) 福井暁子(口外)
4. 東邦大学医療センター大森病院に勤務する医師における介護ニーズ調査(7分)
○片桐由起子(大森産婦/男女共同参画推進センター),
小林未果, 広田幸子(教育・研究支援センター)

F. 平成 25 年度プロジェクト研究報告 2

(発表:各8分, 討論:各2分)

座長：本間 栄教授(大森呼吸器内科) 5~7席 (5:47-6:17)

5. EGFR 遺伝子変異陽性肺癌における血液検体を用いた BIM 遺伝子多型検索の有用性の検討(8分) ○磯部和順, 一色琢磨(大森呼内), 石渡誉郎(大森病院病理)
6. 関節リウマチにおけるアディポネクチンの炎症誘導作用機序(8分)
○北原加奈子, 進藤恵実子(大森膠原病)
7. 小児期の末梢血好中球 TLR2 および TLR4 を指標とした川崎病の原因解析(8分)
○遊佐貴司(感染免疫), 松岡正樹(大森小児)

-- 休憩 10分 (6:17-6:27) --

G. 大学院学生研究発表

(発表:8分, 討論:2分)

座長：周郷延雄教授(大森脳神経外科) 8席 (6:27-6:37)

8. 腰椎椎間板ヘルニアに対する microendoscopic discectomy の手術侵襲の検証(8分)
高松 諒(高次機能制御系), 指導教授:高橋 寛教授(大森整形外科)
審査員:周郷延雄教授, 中島耕一教授, 澁谷和俊教授

H. 研修医発表(大森病院初期研修医) 1

(発表:各7分, 討論:各2分)

座長：酒井 謙教授(大森腎臓学) 9~11席 (6:37-7:04)

9. 妊娠後期の検査で見つかった梅毒合併妊娠の1例(7分)
○伊藤友梨香(大森研修医), 松尾若菜(大森産婦)
10. 不全型視神経脊髄炎に対しアルブミン製剤による単純血漿交換療法を施行した1例(7分)
○住田実穂(大森研修医), 大橋 靖(大森腎臓)
11. 劇症 I 型溶連菌感染による蜂窩織炎で急性腎不全を引き起こした1例(7分)
○相川博音(大森研修医), 山崎恵介(大森腎臓)

-- **研修講演** (7:04-7:27) <企画担当> 整形外科学講座(大森) --

座長: 和田明人准教授(大森整形外科) (発表:20分, 討論3分)

急性脊髄損傷に対する顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)を用いた神経保護療法
— 基礎研究から臨床試験へ —

高橋 宏 (佐倉整形外科)

2月20日(金)

当番教室: 眼科学講座(大森)

I. 平成25年度プロジェクト研究報告3

(発表:各8分, 討論:各2分)

座長: 中野裕康教授(生化学) 1~3席 (5:00-5:30)

1. 長野県須坂市における,女性高齢者の保健指導員経験とADLの関連
:保健指導員活動に焦点をあてて(8分) ○今村晴彦, 桑原絵里加(衛生)
2. 卵の生存維持におけるMcl-1の機能解析(8分) ○土屋勇一, 村井晋(生化)
3. エピジェネティック因子EedのT細胞分化における役割(8分)
○内藤拓(免疫), 小林秀行(大森泌尿器)

J. 一般演題2

(発表:各7分, 討論:各2分)

座長: 落合亮一教授(大森麻酔科) 4~6席 (5:30-5:57)

4. 食道癌術後に両上肢麻痺を生じ頸椎後縦靭帯骨化症が発見された1症例(7分)
○増田香織, 大岩彩乃, 寺田享志, 落合亮一(大森麻酔)
5. 左室内血栓を伴った急性心筋梗塞の1例(7分)
○松本新吾, 冠木敬之, 藤野紀之, 山崎亜希子, 池田隆徳(大森循内)
6. 生物学製剤投与中にB型肝炎が再活性化した2例(7分)
○佐々木大樹, 高田伸夫, 岩下裕明, 勝俣雅夫, 宮村美幸, 菊地秀昌, 岩佐亮太,
新井典岳, 古川竜一, 山田哲弘, 曾野浩治, 長村愛作, 青木博, 中村健太郎,
吉松安嗣, 竹内健, 鈴木康夫(佐倉内科), 中島新(佐倉整形)

-- 休憩 10分 (5:57-6:07) --

K. 研修医発表(大森病院初期研修医)2

(発表:各7分, 討論:各2分)

座長: 瓜田純久教授(総合診療・救急医学) 7~9席 (6:07-6:34)

7. メトレキセート使用後の汎血球減少を認めた1例(7分)
○小林優(大森研修医), 河越尚幸(総診)
8. 繰り返す急性腹症を契機に診断された遺伝性血管性浮腫の1例(7分)
○川合玲子(大森研修医), 前田正(総診)
9. 急性発症した若年者の急性膵炎,胃びらんを来した1例(7分)
○島田脩平(大森研修医), 菅澤康幸(総診)

座長: 中嶋均教授(総合診療・救急医学) 10・11席 (6:34-6:52)

10. 骨盤内膿瘍に対し長期抗菌薬投与し膿瘍の縮小を認めた1例(7分)
○川田有香(大森研修医), 福井悠人(感染管理部)
11. 悪性リンパ腫と鑑別を要した脳膿瘍の1例(7分)
○柴山雄紀(大森研修医), 野本淳(大森脳外)

座長：堀 裕一教授（大森眼科） 12 席（6:52-7:01）

12. 非接触式広角眼底観察システムを用いた顕微鏡下強膜内陥術の1例(7分)

○矢田圭介(大森研修医), 出口雄三(佐倉眼科)

-- 休憩 10 分 (7:01-7:11) --

-- シンポジウム (7:11-7:56) <企画担当> 眼科学講座(大森) --

「全身疾患と眼血流」

座長：堀 裕一教授(大森眼科)

- 1) レーザースペックルフローグラフィの測定法(5分) 柴 友明(大森眼科)
- 2) 新生児眼底血流測定を試み(10分) ○ 松本 直(大森眼科), 水書教雄(大森新生児)
- 3) 全身疾患と眼血流 : 眼科医とともに歩んだ動脈硬化制御への道(15分)
高橋真生(佐倉循内)
- 4) 総合討論(15分)

閉会の辞 _____ 眼科学講座(大森) 堀 裕一教授

-
- 1) 「休憩」は当日の進行状況によっては割愛することがあります。
 - 2) 一般演題, 大学院学生研究発表, プロジェクト研究報告, 研修医発表, 医学研究科推進研究報告, 分科会報告の演者は, 開催当日までに必ず「雑誌掲載用講演抄録」(演題, 演者名, 本文 400 字程度, Keywords 英語 3 語以内*)の出力紙とデータ(FD・CD・USB 等)を受付にご提出になるか, e-mail にデータ添付でお送りください (E-mail : igakukai@med.toho-u.ac.jp)。* Keywords は東邦医学会雑誌総索引に掲載されますので, 適切な用語を選んで下さい。
 - 3) 教授特別講演の先生は, 例会当日より 4 週間後に 4,000 字程度にご講演内容をまとめて提出してください。
 - 4) 当番教室企画講演の先生は, 例会当日より 4 週間後に 3,200 字程度に総説形式の講演要旨として提出してください。
 - 5) 医学会賞受賞記念講演の先生は, 例会当日より 4 週間後に 2,000 字程度の講演要旨を提出してください。
- ※2)～4)5)とも東邦医学会雑誌近刊号に掲載の予定です。3), 4), 5)については, 詳細を受付におたずねください。

5 号館地下臨床講堂 内線:3862 PHS:72893 (開催日のみ)